受 理 番 号	陳情第26号
件 名	子どもを育てやすい社会・職場環境の構築について
要 旨	<p>広島市は、市政推進に当たっての基本コンセプト「世界に誇れる『まち』の実現に向けて」に基づいて、社会全体で子どもの成長を支えていくために、「全ての子どもが健やかに育つための環境づくり」や「社会全体で子どもを育てる環境づくり」などに取り組んでいる。</p> <p>広島市の職員についても、仕事と家庭等を両立し、より一層活躍できるよう、ライフステージに応じた休暇など多様な支援制度を整備し、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組んでいる。出産や育児、介護等に関する休暇もあり、一見充実した職場環境に見える。しかしながら、その実態は近隣の自治体と同程度又はそれに及ばないものでしかなく、世界に誇れる「まち」づくりを担うべき職員が、他の自治体に流れても仕方ない現状がある。</p> <p>昨年の夏、広島市長は平和宣言の中で、平和文化の振興に向けた取組を進めていくと全世界に向けて宣言した。それは、私たち広島市民が属する社会が、未来に向けて晴れ晴れとしたものになるよう取り組んでいくという決意表明にほかならない。その実現のためには、子どもの教育に関する支援や、子育てをする職員への支援は欠かすことのできない重要事項である。</p> <p>私たちは、少子化で働く人が少なくなる未来を共有している。広島市の未来を晴れ晴れしたものにするためには、より良く働ける職場環境を作ったり、子どもを育てやすい社会にすることを考え、構造的に課題を抱えているのであれば、必要に応じて構造を新たに作り替えていく必要がある。共有する未来を市民が共に思い描き、協力できる社会環境を構築するために、下記の事項を陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 世界に誇れる「まち」づくりができる人材確保に向けて、広島市職員に関する労務管理制度や研修制度を、民間企業や他自治体と足並みを揃えるものではなく、日本社会をリードできるように変革すること。</p>

要 旨	<p>2 職員の子どもが通う学校において臨時休業等が起きた場合は、現行の年次休暇による個々の判断に頼るのではなく、特別休暇による子育てを支援する構造としての判断によるものに条例を整備すること。広島市職員の子育て支援に関することについては、令和6年度にようやく子どもの行事で保護者が特別休暇を取得できるようになった。前進しているようには見えるかもしれないが、他の自治体はとうの昔に制度化しているものであり、世界に誇るどころの話ではない。子育てを社会全体で支えるということは、制度として子育てを認めていくことである。</p> <p>3 2の実現のために、それを見込んだ職員を採用又は加配できるよう、構造を作り替えること。休暇が取れる条例が整備されたとしても、残された職員がその仕事を全て請け負うのであれば、社会全体で子どもを育てる環境が作られているとは言えない。</p>
-----	---